

## オフィス環境の省エネルギー化に向けて

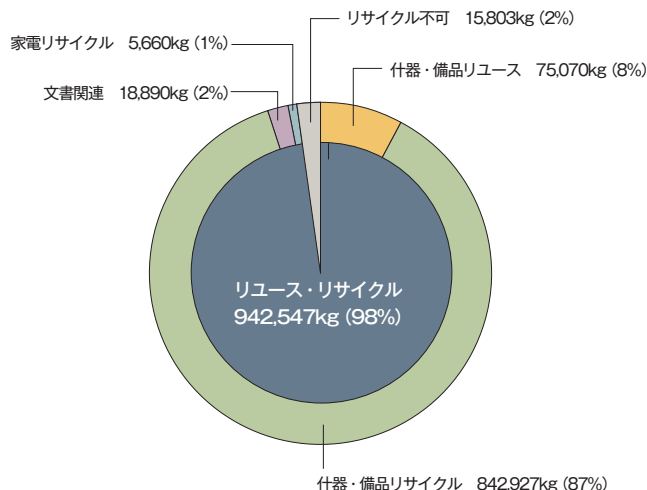
大和証券グループは、継続して環境負荷の低減に努めているほか、役職員への意識啓発を行っていきます。

### 移転時の環境負荷の低減

私たちは、移転に際しての環境負荷にも配慮し、「不要物も可能な限りリユース・リサイクルを行い、『廃棄ゼロ』の移転を目指す」ことを目標としました。什器・備品でリユースできなかったものは破碎・圧縮処理し、鉄は電炉メーカー、非鉄は精錬メーカーでのマテリアルリサイクルにより再資源化、廃プラスチック等はサーマルリサイクル\*施設に搬入し、埋立処分量の減量に努めました。また、文書関連は溶融後、製紙原料としました。最終的に総廃棄重量958,350kgのうち、942,547kgを再資源化することとなり、最終処分場への搬入量をマイナスして算出したリサイクル率は98%という結果となりました。

\*サーマルリサイクル：  
廃棄物の焼却処理の際に発生する熱エネルギーを回収し、発電や温水利用等に用いること

大和証券グループ 本店移転におけるリユース・リサイクル実績



### ペーパーレス会議の推進

大和証券グループ本店「グラントウキョウ ノースタワー」の役員会議室には液晶ペンタブレットを用いたペーパーレス会議システムが導入され、2008年5月より会議は原則としてペーパーレスで行われています。

会議資料は会議参加者の手もとに配置された画面に表示され、発表者はその場で資料に書き込んだ内容をリアルタイムで参加者の手もと画面に反映することができます。また、参加者は手もと画面から発表資料に直接書き込みができ、資料に書き込んだメモをデータとして保存することが可能です。

このシステムの導入により、コピー用紙の使用量およびコストを削減できるだけでなく、資料の配付や議事録の作成などが効率化されました。また、資料を一元管理することができるため、高いセキュリティレベルを維持することができます。

応接室や会議室の一部にも、ホワイトボード兼プロジェクター用スクリーン設備が導入されており、グループ全体でペーパーレス会議が推進されています。

このほか、大和証券グループ本社における「ペーパーレス化担当者」の選任によるペーパーレス化推進活動や、各社における紙削減の意識啓発などにより、2008年度の大和証券グループのコピー用紙購入量は前年度比約19%削減となりました。そのほか数値・詳細は、2009年8月末にウェブサイトにて公開予定です。

